

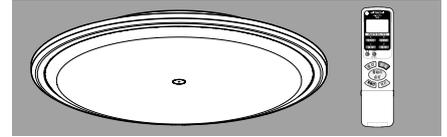
# 取扱説明書

**保証書付き**  
保証書は裏表紙に付いています

## 日立LED照明器具

型式 エルイーシーディーエイチ ユー  
**LEC-DH1230U**  
エルイーシーディーエイチ ユー  
**LEC-DH830U**

**HITACHI**  
Inspire the Next



このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この照明器具は家庭用、屋内用です。業務用および屋外ではご使用にならないでください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

「安全上のご注意」をお読みいただき、正しくお使いください。

### 工事店様へ

この説明書は、工事終了後、お客様にお渡しください。

### 日立家電メンバーズクラブの My家電への製品登録をおすすめします

- 家電品の登録・管理
- お役立ち情報
- パーツショップ送料特典
- お知らせ

詳しくは  
P.16をご覧ください。



登録は  
こちら

もくじ	安全上のご注意	1
	使用上のご注意	2
	リモコンの準備	2
	各部のなまえ	4
	開梱後の器具の取り出しかた	4
	器具の取り付けかた	4
	点灯・消灯のしかた	5
	調色・調光	6
	普段の点灯	6
	あかりセレクト	7
	節電モード	7
	常夜灯	8
	おやすみ30・60分	8
	タイマー予約	8
	留守番	9
	チャンネルの設定	10
	器具の取り外しかた	10
	お手入れ	11
	お困りのときは	11
	仕様	14
	保証とアフターサービス	15

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### ■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

#### 危害や損害とその程度の区分

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

#### 絵表示の例

**警告** 「警告や注意を促す」内容のものです。

**禁止** してはいけない「禁止」内容のものです。

**指示** 実行していただく「指示」内容のものです。

## 警告

**禁止** このような場所には取り付けない  
※器具の落下によるけがの原因となります。



押すと簡単にたわむ  
補強のない天井



ケースウェイ取り付け形  
ローゼット、シーリング



傾斜天井



舟底天井



竿縁(さおぶち)天井



格子天井

**禁止**

- 器具の分解や改造、構成部品の交換はしない  
※火災・感電・故障の原因となります。
- 器具の隙間やコネクタに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない  
※感電・故障の原因となります。

**禁止** このような配線器具には取り付けない  
※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。



欠け 割れ  
破損しているもの



ガタつくもの



電源が露出して  
いるもの



19mm未満  
使用不可

角形・丸形引掛シーリング



10mm未満  
使用不可

引掛埋込ローゼット

このような場合は、配線器具を交換してください。配線器具の交換や配線器具が天井に付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に工事を依頼してください。  
※工事には資格が必要です。

# 注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない  
※過熱し、火災の原因となります。
- 浴室などの湿気が多い場所や、常時温度の高い場所（35℃以上）では使用しない  
※絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器では使用しない（100%点灯でも使用不可）  
※過熱し、火災の原因となります。
- 取り付け、取り外し、お手入れの際は電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切る  
※電源を切らないと感電の原因となります。
- 天井から雨漏りや水漏れが発生した場合は、すぐに使用を中止する  
※火災・感電・故障の原因となります。
- センターカバーは確実に取り付ける  
※過熱時の延焼防止のためです。
- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない  
※過熱し、火災の原因となります。
- 屋外で使用しない（この器具は屋内専用です）  
※火災・感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているのに触らない  
※やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない  
※器具の落下によるけがの原因となります。
- カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない  
※目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 同梱しているアダプタを使用する  
※器具の落下によるけがの原因となります。

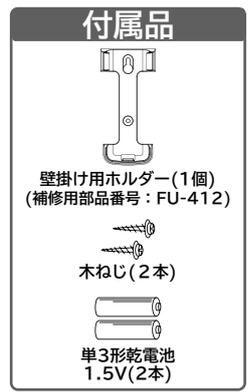
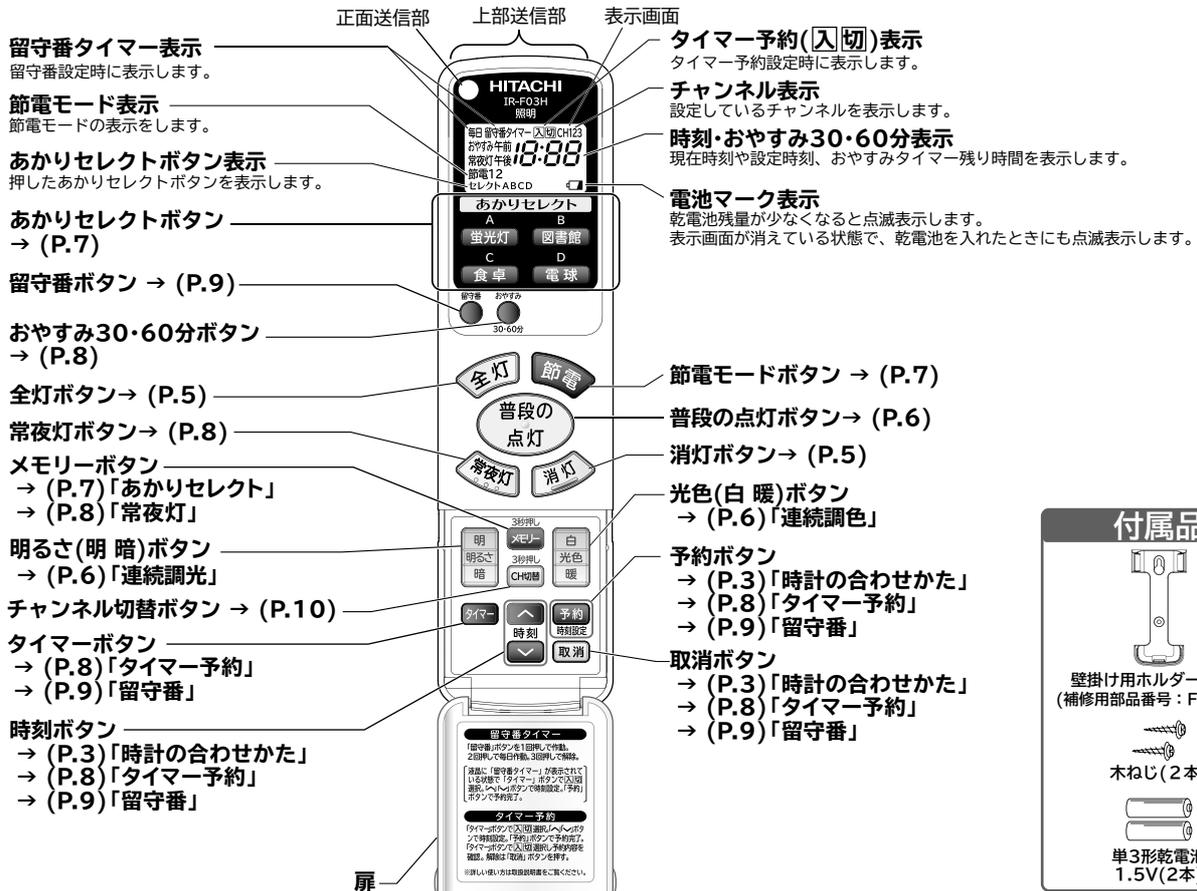
## 使用上のご注意

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源は本体に組み込みのため、お客様自身での交換はできません。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあります。そのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 器具部品の伸縮により、点灯中や消灯直後にきしみ音が発生する場合があります。
- カメラまたはビデオカメラで器具を撮影すると、モニターや撮影画像に線や模様が入ることがあります。

## リモコンの準備 ※リモコンは内側の梱包材に付いています。

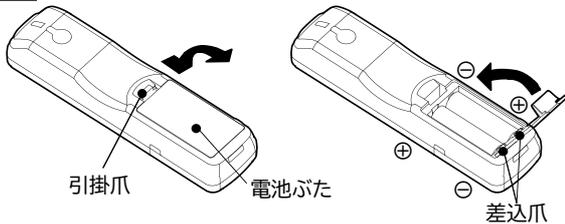
リモコン（型式：IR-F03H/補修用部品番号：FU-559）

ボタンを押すとリモコン送信部からの信号が本体に入り、器具から電子音が「ピッ」と鳴り受信をお知らせします。ボタンを押しても点灯状態が変わらないときは、電子音が「ピピッ」と鳴ります。



## 乾電池の入れかた

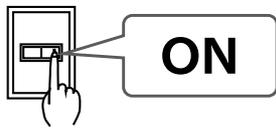
- 1 リモコン裏面の電池ぶたの引掛爪を外して、電池ぶたを取り外す
- 2 付属の単3形乾電池を⊕ ⊖の表示に合わせて入れる
- 3 電池ぶたの差込爪をリモコンに差し込み、引掛爪を「パチン」と音がするまで入れて取り付ける



- 乾電池を誤って使うと液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
- ・電池の液が目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けること
- ・発熱、液漏れ、破裂、機器破損のおそれがあるので、⊕ ⊖ 逆接続、分解、ショート、新旧電池や銘柄の違う電池・異種電池（例えばマンガン乾電池とアルカリ乾電池）の混用、充電、加熱、火に入れるなどしないこと
- ・電池の液が、皮膚や衣類に付着した場合には水で洗い流すこと
- 性能など仕様が一部異なるので、充電式電池は使用しないでください。
- 液漏れによる故障の原因となるので、長時間使用しない場合は乾電池を取り外しておいてください。
- リモコンの乾電池は、約半年を目安に交換してください。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。
- 使用済み乾電池はリサイクル対象外です。ショートすると危険なため、電極にセロハンテープなどを貼り、お住まいの自治体で決められた方法に従って処分してください。

## リモコン使用上のご注意

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



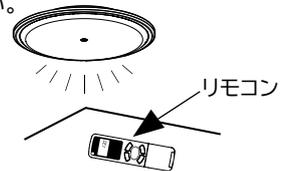
壁スイッチはONにする

- リモコンは壁掛け用ホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。



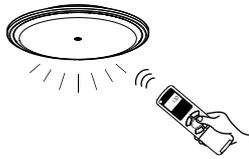
器具に向けて操作する

- 「タイマー予約」・「留守番」で使用する場合は、リモコンを器具の真下付近に置いて、ご使用ください。また、リモコンを置く場所から器具が作動するか確認してください。



器具の真下付近に置く

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが操作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



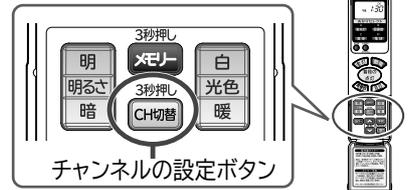
器具に近づけて操作する

- リモコンと器具の間に遮蔽物があると器具が作動しない場合があります。その場合は、遮蔽物を避けてリモコン操作をしてください。



遮蔽物を避ける

- 器具とリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。「チャンネルの設定」をご参照ください。→ (P.10)



チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。
- 乾電池の残量が少なくなってくると電池マークが点滅を始めますので、乾電池を交換してください。表示画面が消えてから乾電池を交換した場合、時刻表示および予約内容は工場出荷時の状態に戻りますので、設定し直してください。

## 時計の合わせかた

- 時計は室温により、1か月に約3分ほどずれることがあります。以下の手順で現在時刻を合わせてください。

- 1 リモコンの扉を開け、時刻表示が点滅するまで、**予約** ボタンを約3秒間長押しする

- 初めて乾電池を入れたときは「-:-」が点滅しています。そのまま手順2に進んでください。



- 2 **時刻** ボタンで現在時刻を設定する

- ボタンを1回押すごとに1分刻みで時刻が変わります。
- ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。



- 3 **予約** ボタンを押す

- 「:」だけが点滅し、設定が完了します。



※設定が途中でやめたいときは**取消** ボタンを押してください。また、約1分間操作がない場合は時刻設定を終了します。このとき、設定途中の時刻は登録されません。

※初めて乾電池を入れたときは**時刻** ボタンを押し、現在時刻を設定したあと、約1分間操作がない場合は「-:-」点滅表示に戻ります。

「-:-」点滅表示の状態ではタイマー機能など、ご使用いただけない機能がありますので、**予約** ボタンで設定を完了してください。

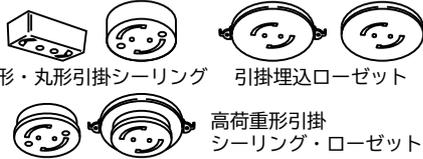


# 各部のなまえ

●右図を参照して、各部品をお確かめください。

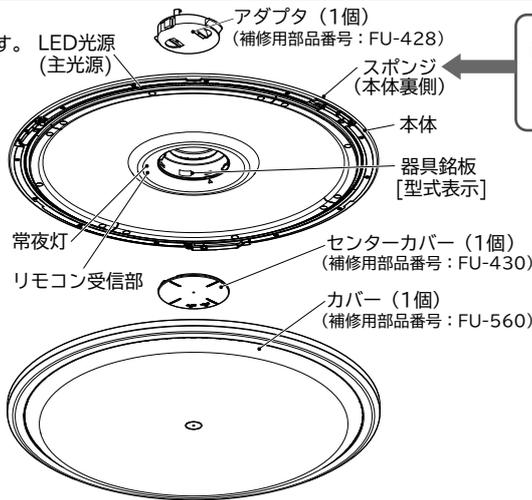
※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

●下図の配線器具が天井に付いている場合、電気工事なしで取り付けられます。  
※配線器具は付属していません。



角形・丸形引掛シーリング 引掛埋込ローゼット  
高荷重形引掛シーリング・ローゼット

取り付けてはいけない配線器具 → (P.1)  
「△ 警告 このような配線器具には取り付けない」



●本体裏側のスポンジを剥がさない  
※器具のガタつきや回転防止のためです。

タイプ (畳)	LED数(常夜灯は除く) 昼光色+電球色
12	192
8	160

●LEDの数量は、機種によって異なります。  
また、数量などLEDの仕様は予告なく変更になる場合があります。

# 開梱後の器具の取り出しかた

※器具は梱包箱から取り出してから、下記に従いカバーとセンターカバーを取り外してください。無理に外すと器具部品の破損などの原因となります。

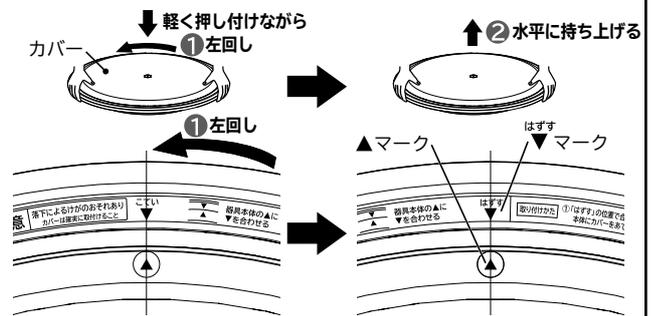
## 1 カバーを本体から外す

① カバーの△マークが本体の▲マークに合うまでカバーを左に回す

●カバーが回しにくい場合は、本体裏面に回転防止のスポンジがありますので、スポンジが縮むように床面などに軽く押し付けながら、カバーを回してください。

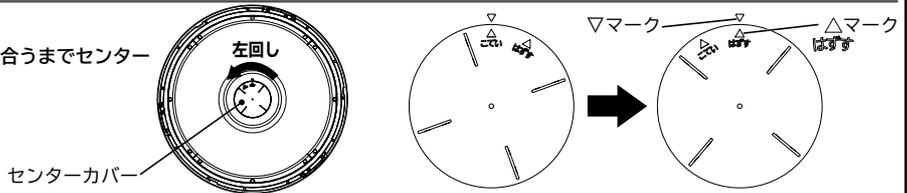
② カバーを水平にゆっくり持ち上げて外す

※無理に外すとカバー破損のおそれがあります。  
カバーは割れやすいので、ぶついたり、衝撃を加えないように取り扱ってください。



## 2 センターカバーを外す

センターカバーの△マークが本体の▽マークに合うまでセンターカバーを左に回して取り外す



# 器具の取り付けかた

## 1 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。  
※複数台の器具を取り付ける場合は、取り付けとチャンネル設定を1台ずつ行うとチャンネル設定を確実に進めます。→ (P.10)

●器具の取り付けの際は、電源を切る  
※電源を切らないと、感電の原因となります。  
必ず守る ※また、コネクタ差し込み時にLEDが点灯して目を痛めるおそれがあります。

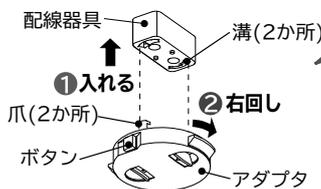
## 2 配線器具にアダプタを取り付ける

① 配線器具(角形引掛シーリングなど)の溝にアダプタの爪を入れる

※必ず同梱しているアダプタを使用してください。

② ボタンを押さずに右方向にいっぱいまで回す

●ロックが掛かり固定されます。



●取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、外れないことを確認する  
必ず守る ※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

### アダプタを取り外す場合は

●ボタンを押しながら、① 押す ② 左回し ③ 外す

## 3 アダプタに本体を取り付ける

① 本体を両手で持ち、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通しながら、アダプタの爪(両側2か所)に掛かるまで押し上げる

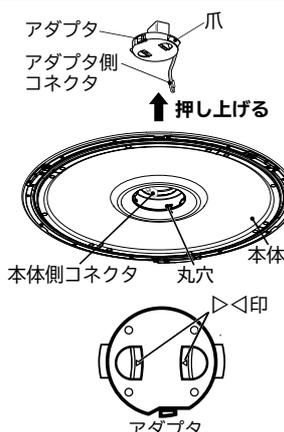
※本体裏側のスポンジは、剥がさないでください。

② 本体が軽力で回転しないこと、極端なガタつきがないことを確認する

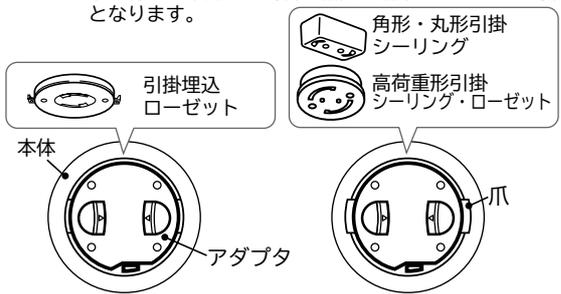
※軽力で回転する場合や極端なガタつきがある場合は、一度本体を取り外し再度取り付けてください。→ (P.10~11)

③ 取り付け後、アダプタのレバーの▷◁印が完全に見えていることを確認する

※取り付けが不完全な状態では本体を軽くゆすると本体が大きく動き、アダプタの解除レバーが動きます。



●本体に掛かる爪の位置が配線器具で変わります。下図を参照し、適切な爪(両側2か所)が本体に掛かっていることを確認する  
必ず守る ※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



# 4

## コネクタを接続する

アダプタ側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込む

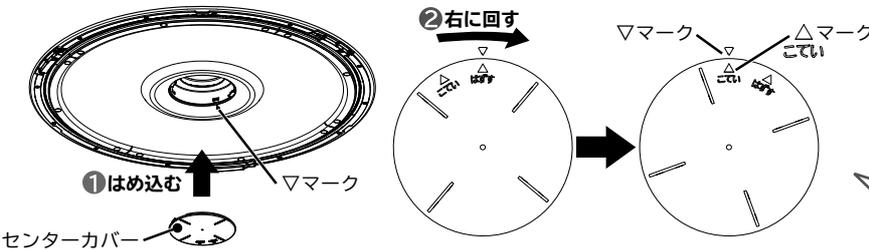


●コネクタや電線を無理に引っ張らない  
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

# 5

## センターカバーを確実に取り付ける

- ① 本体の▽マークとセンターカバーの△マークを合わせてはめ込む
- ② 本体の▽マークとセンターカバーの△マークが合うまでセンターカバーを右に回す

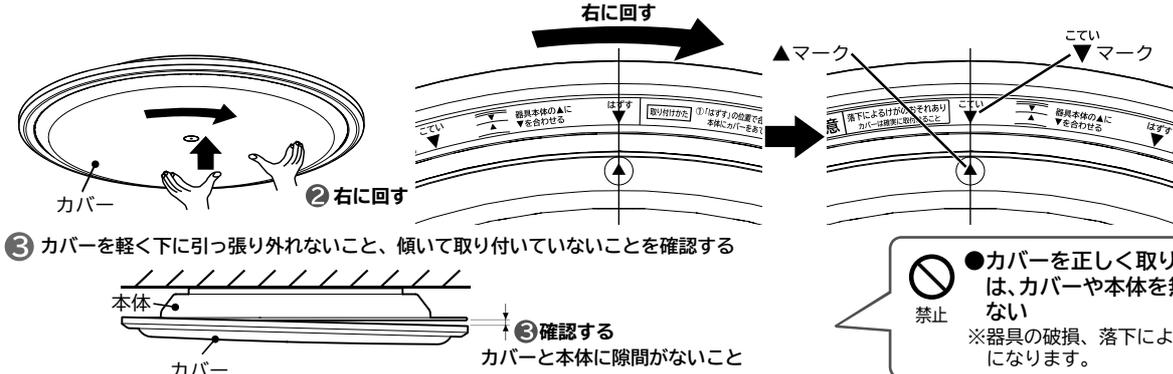


●センターカバーは必ず取り付ける  
※万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止です。

# 6

## カバーを本体に取り付ける

- ① カバーの▽マークを本体の▲マークに合わせて、カバーを本体にかぶせる
- ② カバーを押し上げながら、本体の▲マークに▽マークが合うまでカバーを右に回す  
※カバーを本体に取り付けたあと、カバーを無理に回さないでください。  
カバーを無理に回すと、アダプタや本体の電線が切れたり、本体裏側のスポンジがちぎれる場合があります。



●カバーを正しく取り付けただ後は、カバーや本体を無理に回さない  
※器具の破損、落下によるけがの原因となります。

## 点灯・消灯のしかた

リモコンで操作する 壁スイッチをONにして、リモコンを器具に向けて操作する

### 点灯するとき

普通の点灯 全灯 蛍光灯 図書館 食卓 電球 節電 常夜灯 ボタンのいずれかを押す

### 消灯するとき(ちょっと点いて機能搭載)

#### ■ちょっと点いて機能とは

常夜灯以外で点灯している場合は、消灯 ボタンを押したあと、消灯するまで約10秒間暖色のあかりで点灯し、足元や周りの状況を確認できます。再度消灯 ボタンを押すと、すぐ消灯します。

消灯 ボタンを押す

#### ちょっと点いて機能を無効にする時(有効も同一操作)

点灯状態の場合は、リモコンで消灯してから次の操作をしてください。

- 壁スイッチがONの状態では暖 ボタンを約10秒間長押ししてください。  
電子音が「ピピピッ」と鳴り、ちょっと点いて機能が無効になります。有効の場合は、「ピーツ」と鳴ります。

#### 器具の電子音を消す時(解除も同一操作)

点灯状態の場合は、リモコンで消灯してから次の操作をしてください。

- 壁スイッチがONの状態では暗 ボタンを約10秒間長押ししてください。  
電子音が「ピピピッ」と鳴り、消音モードになります。解除の場合は、「ピーツ」と鳴ります。

## 壁スイッチで操作する 点灯するとき壁スイッチをONにする／消灯するとき壁スイッチをOFFにする

### 点灯するとき

壁スイッチをONにする

### 消灯するとき

壁スイッチをOFFにする

- 壁スイッチをOFFにしてから2秒以上経過したあとに、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前またはリモコンで消灯する前の点灯状態になります。
- ※リモコンで消灯している状態で、2秒以上の停電があった場合も、リモコンで消灯する前の状態で点灯します。長時間ご使用にならないときは、電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ってください。
- 電源(壁スイッチまたはブレーカ)が切れない場合や壁スイッチがない場合は、下記の「点灯状態切替機能を無効にするとき」の手順に従い、点灯状態切替機能を無効にしてください。

### 点灯状態切替機能

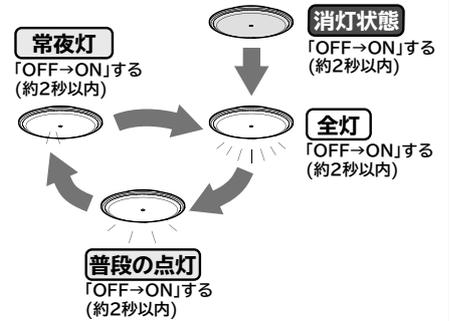
壁スイッチがONの状態、約2秒以内を目安に「OFF→ON」することで器具の点灯状態を切り替えることができます。

- ※1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。
- ※2秒を超えた場合は、点灯状態の切り替えはできません。

● **普通の点灯** **蛍光灯** **図書館** **食卓** **電球** **節電** **白** **明** ボタンであかり

を調節した点灯状態から、約2秒以内を目安に「OFF→ON」すると常夜灯になります。

※落雷などによる短い停電が発生した際にも、点灯状態が切り替わる場合があります。



### 点灯状態切替機能を無効にするとき (有効も同一操作)

次の操作をすることで点灯状態切替機能を無効にすることができます。操作のつど、有効と無効を切り替えられます。



※メモリ ボタンの押し始めまでを10秒以内に操作してください。

※メモリ ボタンを押し始めてから約3秒後に「ピッ」または「ピピッ」と鳴りますが、10秒間長押しを続けてください。10秒後に上記の電子音が鳴らない場合は、操作をやり直してください。

## 調色・調光

### 連続調色

主光源を昼光色に近い白い色から電球色に近い暖かみのある色まで光の色を調節できます。



### 調節のしかた

リモコンの扉を開け、点灯している

状態で **白** ボタンを押す

### 連続調光

主光源・常夜灯の明るさを100%(明)～約5%(暗)の範囲で調節できます。



### 調節のしかた

リモコンの扉を開け、点灯している

状態で **明** ボタンを押す

## 普通の点灯

普通の点灯は、調節したお好みのあかりで点灯できます。

**普通の点灯** ボタンを押す

### 普通の点灯に調節したあかりを記憶させるとき

**1** **普通の点灯** ボタンを押す

**2** リモコンの扉を開け、**白** **明** ボタンでお好みのあかりに調節する

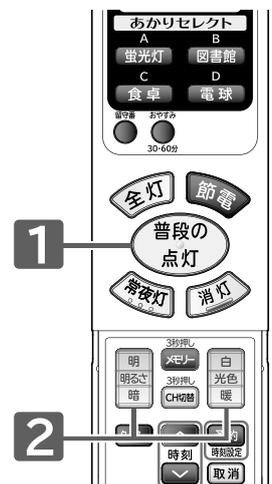
●調節は「調色・調光」をご参照ください。

※ **白** **明** ボタンを押すたびに **普通の点灯** ボタンに記憶し、それ以前の記憶はつど消去されます。

● **全灯** **蛍光灯** **図書館** **食卓** **電球** **節電** ボタンで点灯して、上記手順**2**の操作をした場合も

**普通の点灯** ボタンに記憶します。

※常夜灯は **普通の点灯** ボタンに記憶できません。



# あかりセレクト

あかりセレクトは、「蛍光灯のあかり(A)」「図書館のあかり(B)」「食卓のあかり(C)」「電球のあかり(D)」の設定された4つのあかりが選べます。

- 選んだあかりの光色や明るさを変えることもできます。
- あかりセレクトの4つのボタンに、自分で調節したお好みのあかりを記憶することもできます。

A 蛍光灯 B 図書館 C 食卓 D 電球 ボタンのいずれかを押し

●表示画面に選んだあかりをA、B、C、Dと表示します。

※例：A 蛍光灯 を押した場合



## お好みのあかりを記憶したいとき

**1** 「食卓のあかり(C)」にお好みのあかりを記憶したいとき

C  
食卓 ボタンを押して「食卓のあかり(C)」で点灯する

**2** リモコンの扉を開け 白 明 明るさ 暖 暗 ボタンでお好みの点灯状態に調節する

●調節は「調色・調光」をご参照ください。→ (P.6)

**3** MEMO ボタンを3秒間長押しし、点灯状態を記憶する

●器具から「ピッ」と電子音が鳴れば設定完了です。

C  
食卓 ボタンを押せば、記憶したお好みのあかりで点灯します。

「蛍光灯のあかり(A)」「図書館のあかり(B)」「電球のあかり(D)」にお好みのあかりを記憶したいときも、同じ手順で記憶します。

## 記憶を解除したいとき

記憶を元に戻したい「あかりセレクト」ボタンを約3秒間長押しする

●器具から「ピピッ」と音がして、工場出荷時の状態に戻ります。



## 節電モード

この器具の節電モードは、現在の点灯状態から明るさを抑えて2段階の節電をします。現在の点灯状態によって抑える明るさが変わります。

節電 ボタンを押す

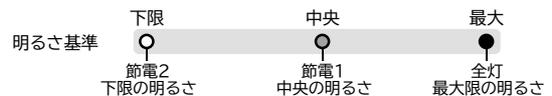
節電 ボタンを押すごとに「節電1」「節電2」「解除」と表示画面が切り替わります。



## 全灯でお使いのとき

節電モードは、全灯でお使いのときは適用畳数(下図参照)の明るさ基準の範囲で、明るさを2段階に調光して節電します。

- 節電1：適用畳数の中央の明るさになります。
- 節電2：適用畳数の下限の明るさになります。



「適用畳数」の表示基準 <sup>注1</sup> と日立の明るさ				型式		節電2	節電1	全灯
	節電2 下限の明るさ	節電1 中央の明るさ	全灯 最大の明るさ					
~12畳	4,500lm以上	5,500lm未満		LEC-DH1230U	明るさ (lm)	4,500	5,000	5,499
					消費電力 (W)	43.1	48.0	53.1
~8畳	3,300lm以上	4,300lm未満	工業会基準	LEC-DH830U	明るさ (lm)	3,300	3,800	4,299
					消費電力 (W)	31.9	36.6	41.5

### 適用畳数の表示基準<sup>注1</sup>

- 適用畳数は、部屋中央に1灯使用した場合の床面における水平面照度が75~150lx(ルクス)確保できる部屋の広さを畳数で表したものです。
- 注1 (-社)日本照明工業会の定める「住宅用カタログにおける適用畳数表示基準」(ガイドA121:2020)による。
- 常夜灯で点灯している状態または消灯状態のときに 節電 ボタンを押すと、全灯から節電したときと同じ明るさで点灯し、節電モード解除時は全灯で点灯します。

## 調光・調色してお使いのとき

現在の点灯状態から、節電1で約15%明るさを抑え、節電2で約30%明るさを抑えて節電します。(光の色は変わりません)

※現在の明るさが、調光下限付近の明るさの場合、節電される割合は減少します。

# 常夜灯

常夜灯の明るさを100%(明)～約5%(暗)の範囲で調節できます。

**常夜灯** ボタンを押す

- **常夜灯** ボタンを押すたびに明るさが100%→約50%→約5%→100%→・・・と変化します。

## 常夜灯の明るさを記憶したいとき

**1** リモコンの扉を開け、点灯している状態で **明** ボタンを押して好みの明るさに調節する

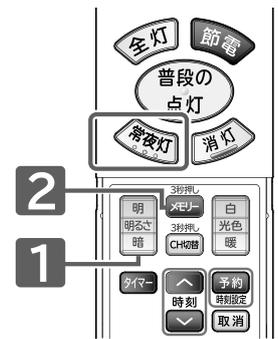
**2** **メモリー** ボタンを3秒間長押しし、明るさを記憶する

- 器具から「ピッ」と電子音が鳴れば設定完了です。
- 記憶したあとは **常夜灯** ボタンを押すと、記憶した明るさで点灯します。
- さらに、**常夜灯** ボタンを押しても、明るさは変化しません。

## 記憶を解除したいとき

**常夜灯** ボタンを3秒間長押しする

- 器具から「ビピッ」と音がして、100%の明るさに戻ります。



# おやすみ30・60分

おやすみ30・60分で、30分後または60分後に自動消灯、または常夜灯へ自動点灯します。3分前になると、暖色のあかりに切り替わり、消灯前をお知らせします。

リモコンを器具に向けて、**おやすみ** ボタンを押す

- **おやすみ** ボタンを3秒以内に押すごとに設定を選択できます。

設定したい表示で器具から「ピッ」と電子音が鳴れば設定完了です。設定後は、残り時間を表示します。

30分後に自動消灯      60分後に自動消灯      30分後に常夜灯へ自動点灯      60分後に常夜灯へ自動点灯 (現在時刻表示に戻る)      解除



## 解除のしかた

設定後、3秒以上たってからリモコンを器具に向けて、**おやすみ** ボタンを押す ※ **常夜灯** ボタンを押しても解除します。

- 器具から「ビピッ」と電子音が鳴って、表示画面から「おやすみ」の表示が消えて解除されます。



# タイマー予約

- タイマー予約は、「自動点灯」、「自動消灯」、「自動点灯・消灯」の予約ができます。また、「自動点灯」は消灯前のあかりで点灯します。

- 予約中は「タイマー 入」や「タイマー 切」が表示されます。また、表示をしていれば毎日実行します。

※常夜灯をタイマーで点灯させることはできません。

- 留守番とは別の時刻設定ができます。→(P.9)「留守番」

- 現在時刻が正しくないときは修正してください。→(P.3)「時計の合わせかた」

## 時刻の設定

※「留守番タイマー」が表示されていないことを確認してください。表示されている場合は取り消してください。→(P.9)「留守番」

※時刻設定ボタン操作が約10秒間ない場合は、現在時刻表示に戻ります。このとき、設定途中の時刻は登録されません。

※設定を途中でやめたいときは **取消** ボタンを押してください。このとき、設定途中の時刻は登録されません。

- 工場出荷時は、タイマー 入 (点灯)「午後6:00」、タイマー 切 (消灯)「午後10:00」に設定されています。

### 入 時間の設定

**1** リモコンの扉を開け、現在時刻画面で **タイマー** ボタンを1回押す

**2** 時刻表示が点滅している間に

**時刻** ボタンで

**入** 時間を設定する



**3** **予約** ボタンを押す

- 現在時刻表示画面に戻り、**入** 時間の設定が完了します。

- タイマー 入 のみ、タイマー 切 のみの設定もできます。

タイマー予約設定時は壁スイッチをONにして、リモコンを器具の真下付近に置く

- リモコンを置く場所から器具が作動するか確認してください。

### 切 時間の設定

**1** リモコンの扉を開け、現在時刻画面で **タイマー** ボタンを2回押す

**2** 時刻表示が点滅している間に

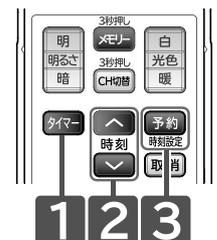
**時刻** ボタンで

**切** 時間を設定する



**3** **予約** ボタンを押す

- 現在時刻表示画面に戻り、**切** 時間の設定が完了します。



## 設定時刻の確認

**タイマー** ボタンを押すごとに **入** **切** 時間の確認ができます。

### タイマー予約の取り消し

#### 入 時間の取り消し

**1** リモコンの扉を開け、現在時刻画面で **タイマー** ボタンを1回押す

**2** 時刻表示が点滅している間に **取消** ボタンを押す

●現在時刻表示画面に戻り、予約中を示す「タイマー入」の表示が消えれば取り消しが完了します。



#### 切 時間の取り消し

**1** リモコンの扉を開け、現在時刻画面で **タイマー** ボタンを2回押す

**2** 時刻表示が点滅している間に **取消** ボタンを押す

●現在時刻表示画面に戻り、予約中を示す「タイマー切」の表示が消えれば取り消しが完了します。



## 留守番

●留守番は1回または毎日の「自動点灯・消灯」ができます。また、「自動点灯」は消灯前のあかりで点灯します。

※自動点灯のみ、自動消灯のみの設定はできません。

※常夜灯を自動点灯させることはできません。

●タイマー予約とは別の時刻設定ができます。→(P.8)「タイマー予約」

●現在時刻が正しくないときは修正してください。→(P.3)「時計の合わせかた」

### 時刻の設定

※時刻設定ボタン操作が約10秒間ない場合は、現在時刻表示に戻ります。このとき、設定途中の時刻は登録されず、最後に設定した時刻で登録されます。

※時刻の設定を途中でやめたいときは **取消** ボタンを押してください。このとき、設定途中の時刻は登録されず、最後に設定した時刻で登録されます。

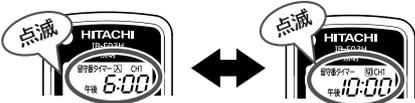
●工場出荷時は、タイマー **入** (点灯)「午後6:00」、タイマー **切** (消灯)「午後10:00」に設定されています。

●「留守番タイマー」が表示されているときは手順 **3** から操作できます。

#### 入 時間の設定

**1** 現在時刻画面で **留守番** ボタンを1回押す

**2** 表示画面が点滅して止まるまで待つ  
●「留守番タイマー」が表示され、現在時刻表示に戻ります。



**3** 現在時刻画面で **タイマー** ボタンを1回押す

**4** 時刻表示が点滅している間に **時刻** ボタンで **入** 時間を設定する

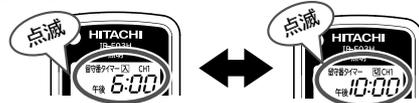


**5** **予約** ボタンを押す  
●現在時刻表示画面に戻り、**入** 時間の設定が完了します。

#### 切 時間の設定

**1** 現在時刻画面で **留守番** ボタンを1回押す

**2** 表示画面が点滅して止まるまで待つ  
●「留守番タイマー」が表示され、現在時刻表示に戻ります。



**3** 現在時刻画面で **タイマー** ボタンを2回押す

**4** 時刻表示が点滅している間に **時刻** ボタンで **切** 時間を設定する



**5** **予約** ボタンを押す  
●現在時刻表示画面に戻り、**切** 時間の設定が完了します。



留守番設定時は壁スイッチをONにして、リモコンを器具の真下付近に置く

●リモコンを置く場所から器具が作動するか確認してください。

### 設定時刻の確認

「留守番タイマー」が表示されている状態で、**タイマー** ボタンを押すごとに **入** **切** 時間の確認ができます。

### 留守番の切り替えと取り消し

● **留守番** ボタンを押すごとに、「1回」→「毎日」→「取り消し」と切り替わります。

●「毎日」が表示されると毎日実行し、「留守番タイマー」表示が消えると取り消しされます。

●「留守番タイマー」のみ表示されているときは、1回のみ設定になります。



# チャンネルの設定

リモコンのチャンネル設定を変えることで、1台のリモコンで3台の器具を別々に操作することができます。

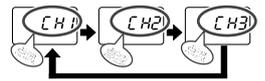
※器具は出荷時の状態で、ご使用いただけます。

お部屋でご使用になる照明器具の台数に応じ、チャンネルを設定してください。

●リモコンの表示画面にあるチャンネル表示は「CH切替」ボタンを長押しすることで、約3秒経過ごとに切り替わります。

●設定したいチャンネルが表示されているときに「CH切替」ボタンを離すことで、リモコンのチャンネル設定が完了します。

●器具にリモコンを向け、「全灯」ボタンを約3秒間長押しすると器具から電子音が「ピピッ」と鳴り、器具のチャンネル設定が完了します。



## 1台のリモコンで1台の器具を操作する場合 ※出荷時は、器具のチャンネルは「1」に設定しています。

リモコンの表示画面が「CH1」になっていることを確認し、器具に向けて操作してください。

## 1台のリモコンで2台以上の器具を別々に操作する場合 2台目の器具をチャンネル「2」に設定します。

### 1 2台目の器具のみ壁スイッチをONにする

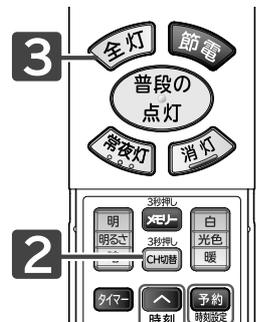
※1台目と2台目の器具が同じ壁スイッチの場合は1台目のコネクタを外してください。  
P.11「4 コネクタを外す」をご参照ください。

### 2 リモコンの扉を開け、表示画面が「CH2」になるまで「CH切替」ボタンを長押しする



### 3 2台目の器具にリモコンを向け、「全灯」ボタンを約3秒間長押しする

●器具から電子音が「ピピッ」と鳴り、設定の完了をお知らせします。  
リモコンを各々の器具に向けて操作し、正しく設定されていることを確認ください。



3台目の器具を「CH3」に設定するときは、同じ手順で設定します。

**ご注意** ●リモコンは、他の日立リモコン照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定のしかたは、その商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

## 全チャンネル有効モードにする場合/チャンネル固定モードにする場合

次の操作をすることで「チャンネル切替有効モード」(工場出荷状態)を「全チャンネル有効モード」「チャンネル固定モード」に切り替えることができます。操作のつど、下図の①→②→③→①→②→③と切り替わります。



※ Xボタンの押し始めまでを10秒以内に操作してください。

※ Xボタンを押し始めてから約3秒後に「ピッ」または「ピピッ」と鳴りますが、10秒間長押しを続けてください。

10秒後に上記の電子音が鳴らない場合は、操作をやり直してください。

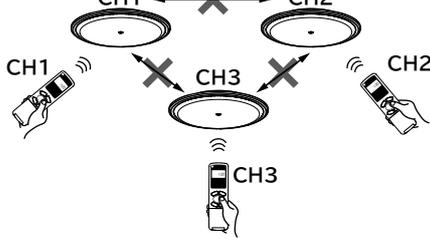
### ①全チャンネル有効モード

1台の器具をリモコンのチャンネルに関わらず操作可能とするモードです。  
リモコンのチャンネルを誤って変えてしまってもチャンネルを気にせず操作することができます。



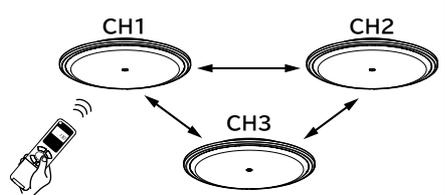
### ②チャンネル固定モード

器具のチャンネルを固定し、不意なチャンネル切替操作で反応しないようにするモードです。器具のチャンネルを設定したあと、全灯ボタンを長押ししてもチャンネルが切り替わらないようにできます。



### ③チャンネル切替有効モード (工場出荷状態)

リモコンのチャンネルを切り替えたあと、全灯ボタンを約3秒間長押しすると、器具のチャンネルが切り替わるモードです。器具のチャンネルを切り替える際はこのモードにしてください。



# 器具の取り外しかた

## 1 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

**!** ●器具の取り外しの際は、電源を切る  
必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。

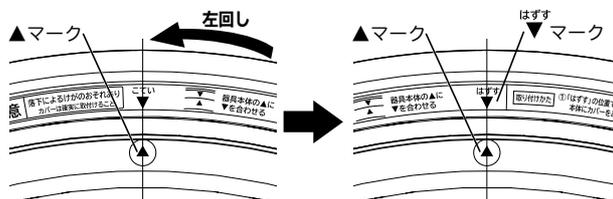
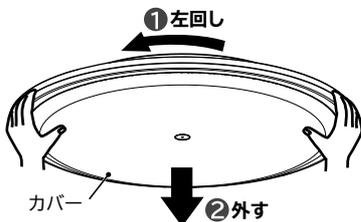
## 2 カバーを左に回して取り外す

① カバーのはずすマークが本体の▲マークに合うまでカバーを左に回す

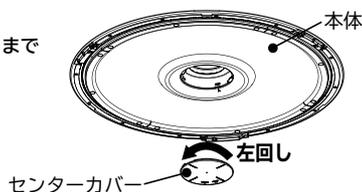
② カバーを水平におろして外す

●室温が5℃以下の環境でカバーが外しにくい場合には、15分間ほど全灯で点灯したあと、消灯し、2、3分おいてから外してください。

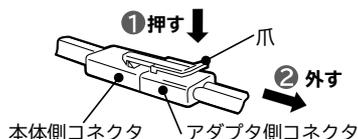
**!** ●消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する  
※やけどの原因となります。



**3 センターカバーを外す**  
 センターカバーの  $\Delta$  マークが本体の  $\nabla$  マークに合うまで  
 センターカバーを左に回して取り外す

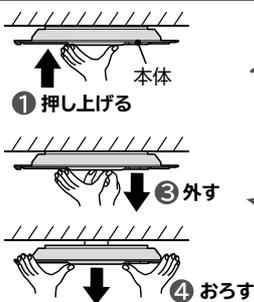


**4 コネクタを外す**  
 アダプタ側コネクタの爪を押しながらかき抜いてください。



**禁止** ●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っ張ったりしない  
 ※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

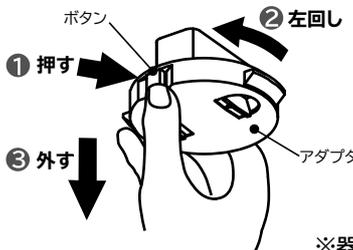
**5 本体を外す**  
 ① 本体の中央部分を片手で天井面に押し上げる  
 ② 本体を押し上げながら、アダプタの解除レバーをつまむ  
 ③ アダプタの解除レバーをつまんだまま、ゆっくりと本体を下げ、アダプタから外す  
 ④ アダプタから本体が外れたら、解除レバーから手を離し、両手でゆっくり本体をおろす



**必ず守る** ●本体が落下しないように確実に本体を押さえながら作業する  
 ※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。

**解除レバーをつまむと爪がアダプタの中に入ります。**

**6 アダプタを外す**  
 ボタンを押しながら左方向に回してください。



**禁止** ●アダプタを無理やり回さない  
 ※角形引掛シーリングなどの破損の原因となります。

※器具の取り付けかたは→(P.4~5)をご参照ください。

## お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。
- 汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けん水に浸してよく絞ったあと拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。  
 ※石けんとは天然油脂を原料としたものです。  
 (商品表示が「石けん」であることを確認してください)



### 器具取り扱い上のご注意

**必ず守る** ●お手入れの際は、電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る  
 ※電源を切らないと、感電の原因となります。

**禁止** ●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんで拭いたり殺虫剤をかけたりしない  
 ※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



**接触禁止** ●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので、触らない  
 ※やけどの原因となります。



**禁止** ●カバーを外した状態で点灯したLED光源を直視しない  
 ※目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



## お困りのときは

●もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下の表に従ってお調べください。

このようなときは	ここを確認してください。	直しかた	ページ
消灯した	●おやすみ30・60分が設定されている	●再度点灯してください。	8
	●タイマー(切)が設定されている	●タイマー予約を解除してください。	8
	●留守番が設定されている	●留守番を解除してください。	9
明るさが変わった	●短い停電があった	●短い停電で、壁スイッチの操作のように点灯状態切替機能が働く場合があります。再度点灯してください。 消灯ボタンを10秒間長押し後、10秒以内に「暗ボタン→明ボタン→常夜灯ボタン」の順に操作し、メモリーボタンを10秒間長押しして、点灯状態切替機能を無効にすることで、短い停電があった場合でも明るさを変えないようにすることができます。	6

このようなときは	ここを確認してください。	直しかた	ページ
リモコンを操作しても点灯しない	●壁スイッチが OFF になっている	●壁スイッチをONにしてください。	3
	●リモコンを壁掛け用ホルダーに入れたまま使用している	●リモコンを壁掛け用ホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。	3
	●コネクタがきちんと差し込まれていない	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
	●リモコンの乾電池が間違っ入っている	●乾電池を正しく入れてください。	3
	●乾電池が寿命になっている	●新しい乾電池に交換してください。	3
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない	●チャンネルを正しく設定してください。	10
	●停電があった	●壁スイッチをOFFにして約10秒待ってから、再度壁スイッチをONにしてください。	—
リモコンで消灯操作をしてもすぐに消灯しない	●ちょっと点いてて機能が有効になっている	●点灯状態の場合は、リモコンで消灯してから次の操作をしてください。 壁スイッチがONの状態ではリモコンの「暖」ボタンを約10秒間長押ししてください。	5
リモコンを操作しても器具から音がしない	●点灯状態は切り替わるが器具から音がしない	●リモコンで消灯し、壁スイッチがONの状態から、リモコンの「暗」ボタンを約10秒間長押ししてください。	5
電池マークが点滅する	●乾電池の残量が少なくなっている	●新しい乾電池に交換してください。 リモコンの表示画面が消えている状態で電池を入れた場合にも電池マークが点滅します。何かボタンを押すことで電池マーク点滅の表示が消えます。	3
	●乾電池が正しく入っていない	●乾電池を正しく入れてください。	3
リモコンのボタンを押すと「-:-」点滅表示に変わる	●乾電池の残量が少なくなっている	●新しい乾電池に交換してください。	3
	●乾電池が正しく入っていない	●乾電池を正しく入れてください。	3
全灯ボタンを約3秒間長押ししてもチャンネルが切り替わらない	●チャンネル固定モードが有効になっている	●消灯ボタンを10秒間長押し後、10秒以内に「暗ボタン→暗ボタン→常夜灯ボタン」の順に操作し、メモリーボタンを10秒間長押しして、チャンネル固定モードから工場出荷時のチャンネル切替有効モードに切り替えてください。	10
壁スイッチを操作しても点灯しない	●ブレーカが切になっている	●ブレーカを入れてください。	—
	●コネクタがきちんと差し込まれていない	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
	●点灯状態切替機能が無効になっている	●消灯ボタンを10秒間長押し後、10秒以内に「暗ボタン→明ボタン→常夜灯ボタン」の順に操作し、メモリーボタンを10秒間長押しして、点灯状態切替機能を有効にしてください。	6
タイマー予約・留守番が作動しない	●リモコンを、器具が作動する範囲内に置いていない	●リモコンを器具の真下付近に置き、置いた場所から作動するか確認してください。	3
点灯状態が次々切り替わる 勝手に明るさが変わる	●店頭展示状態(デモモード)に入っている(数秒おきに調光・調色が繰り返されるもしくは、点灯中、勝手に明るさが変わるリモコンで消灯しても、しばらくすると同様の現象が生じる)	●リモコンで消灯ボタンを押して電子音が鳴ったあと、電子音が「ピピピッ」と鳴るまで約10秒間長押ししてください。 常夜灯などを点灯し、約30秒間変化がないことを確認してください。	14

このようなときは	ここを確認してください。	直しかた	ページ
リモコンで消灯していたが、勝手に点灯した	●2秒以上の停電があった	●リモコンで消灯していても、2秒以上の停電後に電源が復旧した際は、リモコンで消灯する前の状態で点灯します。消灯ボタンを10秒間長押し後、10秒以内に「暗ボタン→明ボタン→常夜灯ボタン」の順に操作し、メモリーボタンを10秒間長押しして、点灯状態切替機能を無効にすることで、停電があった場合でもリモコンで消灯した状態を維持することができます。	6
	●タイマー(入)が設定されている	●タイマー予約を解除してください。	8
	●留守番が設定されている	●留守番を解除してください。	9
	●店頭展示状態(デモモード)に入っている(数秒おきに調光・調色が繰り返されるもしくは、点灯中、勝手に明るさが変わるリモコンで消灯しても、しばらくすると同様の現象が生じる)	●リモコンで消灯ボタンを押して電子音が鳴ったあと、電子音が「ピピピッ」と鳴るまで約10秒間長押ししてください。常夜灯などを点灯し、約30秒間変化がないことを確認してください。	14
常夜灯が点灯し、リモコンで操作しても切り替わらない、切り替わっても常夜灯になってしまう	●電源基板の故障です。お買い上げの販売店へご相談ください。ご不明な点は「ご相談窓口」→(P.15)にご相談ください。		—

上記の表に従って調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

※万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の型式(本体の器具銘板に表示)と現象を連絡のうえにご相談ください。

## 仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。  
また、アフターサービスもできません。

型式	仕様	定格消費電力 (全灯時)	定格電圧	定格周波数	常夜灯点灯時 消費電力	消灯時 待機電力
LEC-DH1230U(~12畳)		53.1W	交流 100V	50/60Hz 共用	約1W	1W以下
LEC-DH830U(~8畳)		41.5W				

- この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。長時間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、節電を心がけてください。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

## 販売店の方へ

### 店頭展示状態(デモモード)とは

数秒おきに調光・調色を自動で繰り返して点灯するモードです。

※店頭展示状態(デモモード)を設定すると、あかりセレクトボタンなどに記憶されていたメモリーは初期化されます。

 ボタンを約10秒間長押し後、20秒以内に下記設定操作を行うと店頭展示状態(デモモード)に設定されます。

#### 設定操作

 →  →  →  ボタン約10秒間長押し

### 解除のしかた

-  ボタンを押して電子音が鳴ったあと、電子音が「ピピピッ」と鳴るまで約10秒間長押ししてください。常夜灯などを点灯し、約30秒間変化がないことを確認してください。

# 保証とアフターサービス

## 保証書

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

保証期間 (お買い上げ日から)	LED光源基板・電源基板：5年 本体（リモコン含む）：1年 詳しくは保証書をご覧ください。
--------------------	---

- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。
--------	--

保証期間が過ぎて いるときは	修理して使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
-------------------	------------------------------------

## 使用中に異常が生じたときは

「お困りのときは」→(P.11~13)をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理を依頼されるため、製品を販売店にお持ちの際は、アダプタ、リモコンも一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

- 1.型式：LEC-DH1230U など
- 2.症状：できるだけ詳しく

## 部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

## 転居される時

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

## 修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## 愛情点検



## 長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際  
このような  
症状はあり  
ませんか？

- スイッチが作動しないことがある
- コゲくさい臭いがすることがある
- 異常な音がする
- カサやカバーなどがひび割れた
- その他の異常・故障がある

ご使用  
中止

故障や事故防止のため、電源を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

この製品の使いかた、お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください。

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

改めて弊社ホームページもご参照ください。 <https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/>

## 商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

TEL 0120-3121-11  
携帯電話 050-3155-1111 (有料)  
FAX 0120-3121-34  
(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)  
年末年始は休ませていただきます。

## 修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68  
携帯電話 0570-0031-68 (有料)  
FAX 0120-3121-87  
(受付時間)9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

《発信者番号通知のお願い》「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電取扱店（お取り寄せ）または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。

日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」 <https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/pages/parts.aspx>

## 日立家電メンバーズクラブのご案内

日立家電メンバーズクラブのMy家電に製品をご登録(無料)いただくとスマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

### ■My家電への製品登録

#### ① コードを読み取る

- コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。



登録は  
こちら

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

#### ② 画面の案内に従って家電品を登録



### ■日立家電メンバーズクラブ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

#### パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。

- ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

詳しくは、日立家電メンバーズクラブのホームページをご覧ください。

## 日立LED照明器具保証書 出張修理

# HITACHI

※型式 <input type="checkbox"/> にチェック <input type="checkbox"/> LEC-DH1230U <input type="checkbox"/> LEC-DH830U	
※お客様	お名前 <span style="float:right">様</span>
	ご住所〒 電話 ( )
※お買い上げ日	
年 月 日	保証期間(お買い上げ日から) 本体：1年 電源基板・LED光源基板：5年
※販売店	住所・店名
	電話 ( )

左記の保証期間内に取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、本書記載内容に基づき無料修理をお約束するものです。

お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。

本書は日本国内のみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書といっしょに大切に保管してください。

#### 1. 保証について

- (イ) 本体の保証はリモコンを含みます。ただし、電池などの消耗品やカバーは対象外です。
- (ロ) 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、保証期間の半分とします。

#### 2. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)への長時間使用または車両、船舶へのとう載)に使用された場合の故障または損傷。
- (ホ) 本書のご提示がない場合。

(ハ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

(ト) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。

3. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

4. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

5. 贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、取扱説明書→(P.15)に記載されております「ご相談窓口」にご相談ください。

6. 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書→(P.15)に記載されております「ご相談窓口」にお問い合わせください。

●補修性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。性能部品とは、器具の機能を維持するために必要な部品です。なお、補修性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

●お客様にご記入いただいた保証書の個人情報、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますのでご了承ください。

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社 〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

お問合せ先：「修理に関するご相談窓口」0120-3121-68、携帯0570-0031-68  
詳しくは「保証とアフターサービス」のページをご覧ください。